



公益財団法人 東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター



東京の食と緑を支える『農総研』

研究企画室長 山崎 あゆみ

農総研の使命 (mission)

◎東京の農林業の振興

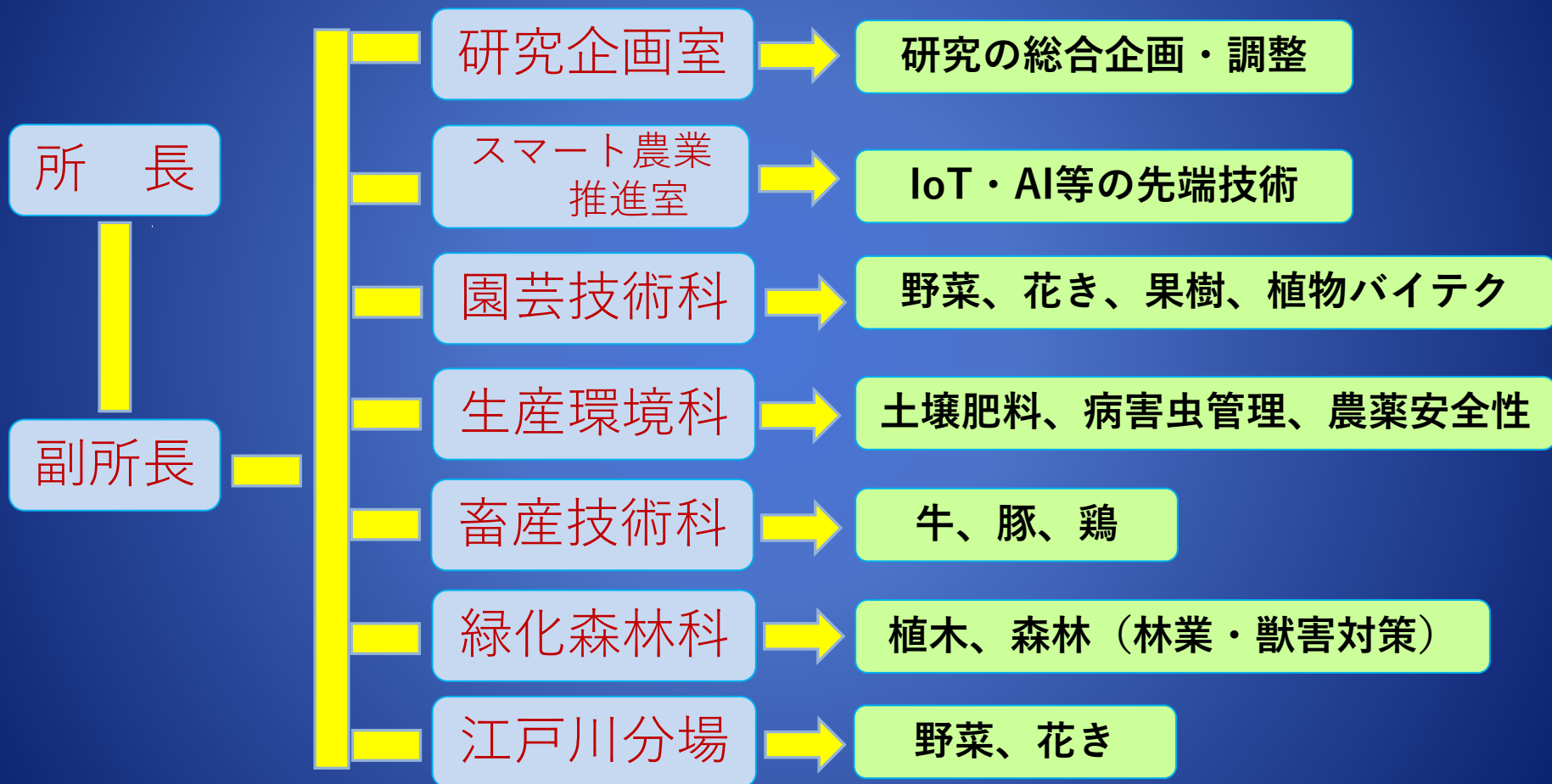
◎健全で豊かな都民生活の向上

◎多様な分野と積極的に連携

→ 新たな可能性を切り拓く研究開発に挑戦

(東京都農林総合研究センター試験研究推進戦略より)

農林総合研究センター 組織図



研究企画室

研究の総合企画、評価、 情報発信、成果還元を実施

- ・ 研究のレベルアップ（研修制度、外部委員による研究評価）
- ・ 研究成果の公表（研究報告書の作成、研究発表会の実施、HP公開等）
- ・ 産学公連携・農商工連携の推進（大学・企業等との共同研究契約の推進）
- ・ その他（研修、食育等のイベントの企画）



外部評価委員会による研究評価



「成果情報」「研究報告」等による
研究成果の公表



スマート農業 推進室

東京型スマート農業の新展開

これまで開発した技術の発展・普及

研究開発プラットフォームの運営

東京フューチャー
アグリシステム

IoT/AI等の先進技術

ローカル5Gを活用
した農業技術開発

発展

オープンラボの運営

発展

技術開発と普及促進

発展

経営モデルの開発

発展

次世代通信技術
による高度化

普及

研究開発プラットフォーム

東京型スマート農業
オープンラボ

生産者 普及指導員 研究員

- 傾斜地ミカン園の草刈作業の労力軽減



- 情報共有基盤の整備（病虫害発生マップ）



- 環境制御システムの果樹（ブドウ）への応用

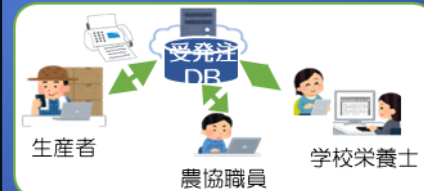


- 東京エコポニックスの汎用化（イチゴ、トマト）
- 鉢花の底面給水システムの確立

- 庭先直売所経営管理システムによるマーケティング手法の構築



- 農産物の流通の効率化に向けた受発注情報基盤の整備（学校給食）

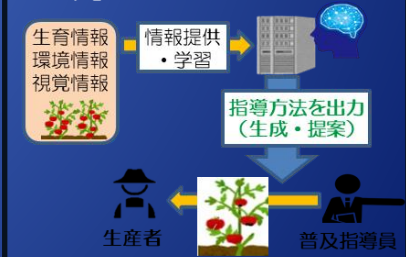


- 農業体験農園の情報共有基盤の整備

- 対話型AIを活用した栽培支援システムの構築

- 栽培環境や生育状況の見える化技術の開発

- 新しい通信技術を活用した圃場監視技術の開発



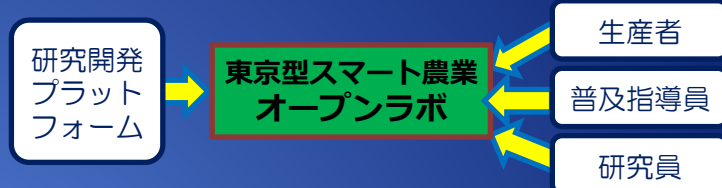
※ NTTグループとの連携協定による取組

東京型スマート農業の新展開（令和8年度計画）

- 東京型スマート農業プロジェクト（令和2～5年度）の成果をベースに、技術の実装と研究開発をさらに進める。

1 オープンラボによる東京型スマート農業の実装

- 東京型スマート農業研究開発プラットフォームの運営
ホームページの運営・研究開発テーマの募集・情報交換会の開催
- 研究開発プラットフォーム企画運営会議の開催（年2回）
- オープンラボの3か所の運営（新規1か所）
果実発色促進技術導入、非破壊糖度計導入による経営改善等



2 東京型スマート農業技術の開発と普及推進

- 都内生産者の情報共有基盤の整備（病害虫発生状況等）
「東京版虫害マップ」のアプリ開発
- 環境制御システムの果樹（ブドウ）への応用
成木期の環境制御による収量・品質
- 東京エコポニクの汎用化（イチゴ、トマト）
給液管理と環境制御の統合システム開発
- 作業労力軽減を目指した鉢花の底面給水システムの確立
循環式底面給水システムの開発



果実発色促進装置



東京版虫害マップ

3 スマート技術を活用した新しい都市農業経営モデルの開発

- 庭先直売所経営管理システムによるマーケティング手法の構築
「見えベジ」の地域活用モデルの構築（オープンラボ）
- 農産物の流通の効率化に向けた受発注情報基盤の整備
- 農業体験農園の情報共有基盤の整備



「見えベジ」の地域活用モデル



地元産農産物の受発注のDX化

4 次世代通信技術を活用した農業技術の推進と高度化

- NTTグループとの連携協定
- 対話型AIを活用した栽培支援システムの構築
- 栽培環境や生育状況の見える化技術の開発



ドローンによる空撮

園芸技術科

高収益を目指し、野菜、果樹、
花の新品種、新生産技術を開発！

野菜研究チーム

- ◆ ウドの弱休眠性品種における栽培および品種識別技術の開発
- ◆ 10～11月どり主要アブラナ科野菜の高温障害抑制技術の開発
- ◆ 直売向けスイートコーンのトンネル早熟作型の品質改善技術の開発
- ◆ 冷却技術の組み合わせによるイチゴの生産安定
- ◆ 有用遺伝資源の評価・利用



アブラナ科野菜の
暑熱対策試験

植物バイテク研究チーム

- ◆ 栄養繁殖系作物のウイルスフリー苗作出と大量増殖法の開発
- ◆ ブルーベリーの温暖地での高品質化にむけた栽培および育種研究
- ◆ ウドの弱休眠性品種における栽培および品種識別技術の開発
- ◆ 有用遺伝資源の評価・利用



育種研究のための成長点培養

園芸技術科

高収益を目指し、野菜、果樹、
花の新品種、新生産技術を開発！

花き研究チーム

- ◆ 春需要に向けた切花用ポット栽培における
高品質・低コスト栽培技術の開発
- ◆ 鉢物ランタンキュラスの初春出荷に向けた
安定生産技術の開発
- ◆ 有用遺伝資源の評価・利用



ランタンキュラス栽培技術の開発

果樹研究チーム

- ◆ ブドウの東京オリジナル品種の開発
- ◆ 収穫コンテナを活用したイチジクの
簡易・安定生産技術の開発
- ◆ ブルーベリーの温暖地での高品質化にむけた
栽培および育成研究
- ◆ 有用遺伝資源の評価・利用



ブドウ「高尾」の高品質・安定生産試験

生産環境科

農作物の最適な生産環境と安全性を確保するため、研究開発を推進！

病害・虫害管理研究チーム

- ◆ 新発生・異常発生病害虫の原因究明と対策
- ◆ 代替農薬等の効率的防除技術の開発
- ◆ トマトのタバココナジラミに対する各種防除法の検証と防除モデルの構築
- ◆ コマツナのFusarium関連属菌による土壌病害防除法に対する評価法の確立



トマト黄化葉巻（左）病と病原を媒介するタバココナジラミ（右）

農薬・安全性研究チーム

- ◆ ジノテフランの土壌蓄積要因の解明
- ◆ ヤシガラを用いたトマト養液栽培における農薬の挙動解明
- 特産農作物農薬登録拡大事業
(コマツナ、アシタバ、ウド、パッションフルーツなど)



作物中の残留農薬分析

生産環境科

農作物の最適な生産環境と安全性を確保するため、研究開発を推進！

土壌肥料研究チーム

- ◆ 環境保全型有機質資源施用基準の設定
- ◆ 江東地域の高EC施設土壌でのコマツナ栽培における肥培管理方法の確立
- ◆ 土壌に由来する非結球葉菜類の生育障害の実態解明と対策



栽培施設内の土壌調査



キャベツの有機物連用試験

畜産技術科

高品質で安全な東京ブランド畜産物の
開発・維持、生産性向上、環境問題の
ための技術開発を推進！

- ◆ カプサンチンによる東京うこっけい卵の高付加価値化
- ◆ 受精卵移植におけるカラードプラの有効活用法の提案
- ◆ 胚の品質評価によるウシ体外受精胚生産技術向上の検証
- ◆ 東京うこっけいにおける始原生殖細胞(PGCs)の
保存・利用技術の確立
- ◆ トウキョウX遺伝資源の有効活用法の確立
- ◆ 黒毛和種ET産子哺育技術の向上
- ◆ 生乳脂肪酸組成を利用した乳用牛の飼養管理向上



東京うこっけい



乳牛



トウキョウX

緑化森林科

東京を安全で緑あふれる都市にするため、都市空間の緑化技術開発、また森林産業を育成のための森林づくりに向けた技術開発を推進！

植木研究チーム

- ◆ 緑化樹として需要の増大している山採り主体の樹種における生産技術の確立
- ◆ 新しい緑化植物のコンテナ生産技術の開発
- ◆ 有用遺伝資源の評価・利用

森林研究チーム

- ◆ 林地環境に適応した広葉樹の施行体系の確立
- ◆ 環境に配慮したシカ侵入防止柵の開発
- ◆ 施設型採種園における種子生産技術の確立
- ◆ 都産無花粉スギ採種園造成のための技術確立



近年人気の高い山採り主体樹種（アオダモ）



広葉樹等多様な森づくり



シカの角こすりによる被害



ヒノキ雄花・雌花



少花粉ヒノキの採種

江戸川分場

東京の伝統ある特産品、コマツナや鉢花、花壇苗などの生産技術、新製品の開発を推進！

- ◆ コマツナの安定生産に向けた施設管理技術の開発
- ◆ 茶豆風味エダマメにおける作型毎の高品質化技術の確立
- ◆ 地域特性を活かしたパンジーの鉢物栽培技術の開発
- ◆ 有用遺伝資源の評価・利用



コマツナの適正施肥漁試験



高性種パンジー



茶豆風味エダマメの
品種比較試験



コマツナ品種比較検討会

令和8年度開始研究課題の重点項目

◎夏季の高温対策（野菜・果樹）

◎省労力、省エネルギー（花き・果樹）

◎生産安定化、高品質化、高付加価値化
（全研究チーム）

◎家畜伝染病対策、種の保存技術（畜産）

◎スギ・ヒノキの花粉対策（森林）

東京オリジナル品種の育成

フバルティア「東京スターシリーズ」



「シルキーホワイト」

「クリアピンク」

「パールピンク」

フバルティア「第3期開発品種」



「オーロラ」

「フラミンゴ」

フバルティア「東京ダブルスターシリーズ」



「スノーピンク」

「恋桜(こいざくら)」

「サニーレッド」

・清楚な淡ピンク
・白からの色変わりが
楽しい

・華やかな濃ピンク
・さわやかな香り

・あざやかなオレンジ赤
・ボリュームある小輪、多花

イチゴ「東京おひさまベリー」



約40年ぶりの露地栽培向け品種

東京オリジナル品種の育成

東京の温暖な気候に対応した高品質ブルーベリー新品種

TB-02 (東京ブルーフューケ)



〔特性〕

- ☆温暖地適応性があり、豊産性、端境期に収穫
- ☆甘味強く、摘取り園の中生品種に向く
- ☆房取り収穫でき、出荷に適する

TB-04 (東京ブルーグランテ)



〔特性〕

- ☆ハイブッシュ系で比較的温暖地適応性あり
- ☆大粒・良食味で出荷にも向く
- ☆摘取り園の早生品種 (6月上旬収穫)

(R6年2月22日 新品種登録 出願公表)

農総研の研修制度

◆ 農業技術研修生

研修コース ① 園芸（野菜、花き、果樹、植木） ② 畜産

◆ インターンシップ 大学生、留学生

◆ JA営農指導員研修 JA中央会主催（講義と実習）

◆ 職場体験研修 都内中学校生徒など



J A 営農指導員実技研修



農業技術研修生の先進農家視察



大学生のインターンシップ

施設公開・イベント

都民や地域住民との交流・東京農業への理解促進

- ◆ 春の家畜ふれあいデー 4月
- ◆ 秋の家畜ふれあいデー 10月
- ◆ 農林水産フェア 10月
- ◆ サツマイモ栽培体験 5~10月
- ◆ 畜産加工体験教室 2月



サツマイモの栽培体験

家畜ふれあいデー

農林水産フェア